オンライン RLI コース

RLI 日本支部

参加者用テキスト

ご挨拶

ＲＬＩ日本支部
支部長　北　清治

新型コロナウイルスのパンデミックな現況下でロータリー活動も抑制され対応を余儀なく求められております。このような時こそ、革新的な未来像が生み出されてくるのではないでしょうか。

RI 理事会は、2020 年中の会合は全てオンラインで行うことを決定し、地区研修やガバナー公式訪問などオンラインで行うことを奨励しております。地区会合やクラブ例会など一日も早く正常に戻ることを願いつつ、バーチャル会議など創意工夫された対応が図られていることと思います。

日本の RLI においても、現時点での対応策としてオンライン RLI 実施マニュアル作成などの必要性を認識しておりました。早急に RLI 日本事務局、カリキュラム委員会、ファシリテーター委員会で度重なる検討会議を開催して頂きましたことをご紹介申し上げますと共に関係各位に感謝申し上げます。

ここにオンライン RLI の標準実施マニュアルを初期暫定版になりますが提供させて頂く運びとなりました。各地区におかれまして十分ご検討して頂き大きな成果が上がりますことを期待致しております。

オンライン RLI の実施に当たっては ZOOM ミーテング会議などに精通したロータリアンの参加協力がより大きな成果を上げるものと思います。また想定を超える課題も多々出てくるものと思います。そのような折は忌憚のない情報交換をして頂きながら皆さんの英知を結集して、より充実したオンライン RLI 日本版が出来上がることを願っております。

今後は本来のリアル RLI とオンライン RLI の融合が図られ、それぞれの地区の実情に合わせた有効活用が図られると共に、これを契機により充実した内容へと発展しますことを期待致しております。

オンラインＲＬＩ参加者テキスト発行に際して

ＲＬＩ日本支部カリキュラム委員会
ＲＬＩ日本支部ファシリテーター委員会

今般の新型コロナウィルスの世界的蔓延により、ロータリーの様々な活動においても大きな影響がもたらされております。特に、参加者とＤＬが直接顔を合わせながら、議論を発展させていく研修スタイルのＲＬＩにおいては、従来とは違った安全でかつ効果的な開催方法を模索せざるを得ない状況になりました。

日本支部では、北委員長様のご指導の下、直ちにウェブツールを利用したＲＬＩの開催方法を検討し、この度オンラインＲＬＩ実施マニュアルが完成致しました。カリキュラム委員会ではその指針に沿って、現在のカリキュラムをベースにオンラインでも参加者の満足感が得られる内容となるよう、セッションの話題と目標に修正を加えることに致しました。

また今回、参加者用テキストとは別に資料編を編集し、オンラインでのＲＬＩの進行をよりスムーズにできるよう工夫させて戴きました。

従来のテキストには無い新しい資料も挿入してあり、オンラインでのＲＬＩにおいても、今まで以上に白熱した議論が盛り上がるものと期待致しております。

さらに、オンラインツールの特徴である画面共有システムを利用し、ＤＬが映像やスライドを適宜挿入することにより、参加者がより臨場感溢れる議論が楽しめるのではないかと考えております。

ただ、何分にもオンラインＲＬＩは今回初めての試みであり、至らないところも多々あろうかとは存じます。今後、皆様のご指摘を賜りながら、更なる進化をさせ、オンラインでのＲＬＩ研修効果を高めて参りたいと存じます。

今後とも皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

ロータリー・リーダーシップ研究会

RLI プログラムについて。

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI)は、世界中にある支部に組織化された地区会員のために、草の根で多地区のリーダーシップ開発を行うプログラムです。3 年ごとに開催される規定審議会は理事会に対して、過去 3 回 RLI を強く推奨してきました。

RLI は、潜在的クラブ役員候補者や最近クラブに入会したメンバーも含めて他のクラブ会員のために、一連の質の良いリーダーシップ開発コースを実施してきました。

RLI の各コースは、リーダーシップ技能や世界中のロータリーの知識を強調しています。

すべてのコースは、完全に対話型となっています。RLI は、リーダーシップ研修によって、参加者がロータリーに熱中し、ロータリーにもっと取り組むことによって、会員維持にプラスの影響が与えられると信じています。RLI に関する詳細な情報は、ウェブサイトをご覧ください。（www.rotaryleadershipinstitute.org）

RLI 推奨プログラム

RLI の拡大により、各支部において、DL（指導者）がカリキュラムに適応したり、また（支部で）翻訳を提供するのに十分な機会を与えるために、大きな改定が 4 年ごとに推奨されています。すべてのカリキュラム資料や翻訳版は RLI ウェブサイトに掲載されています。（www.rlifiles.com）

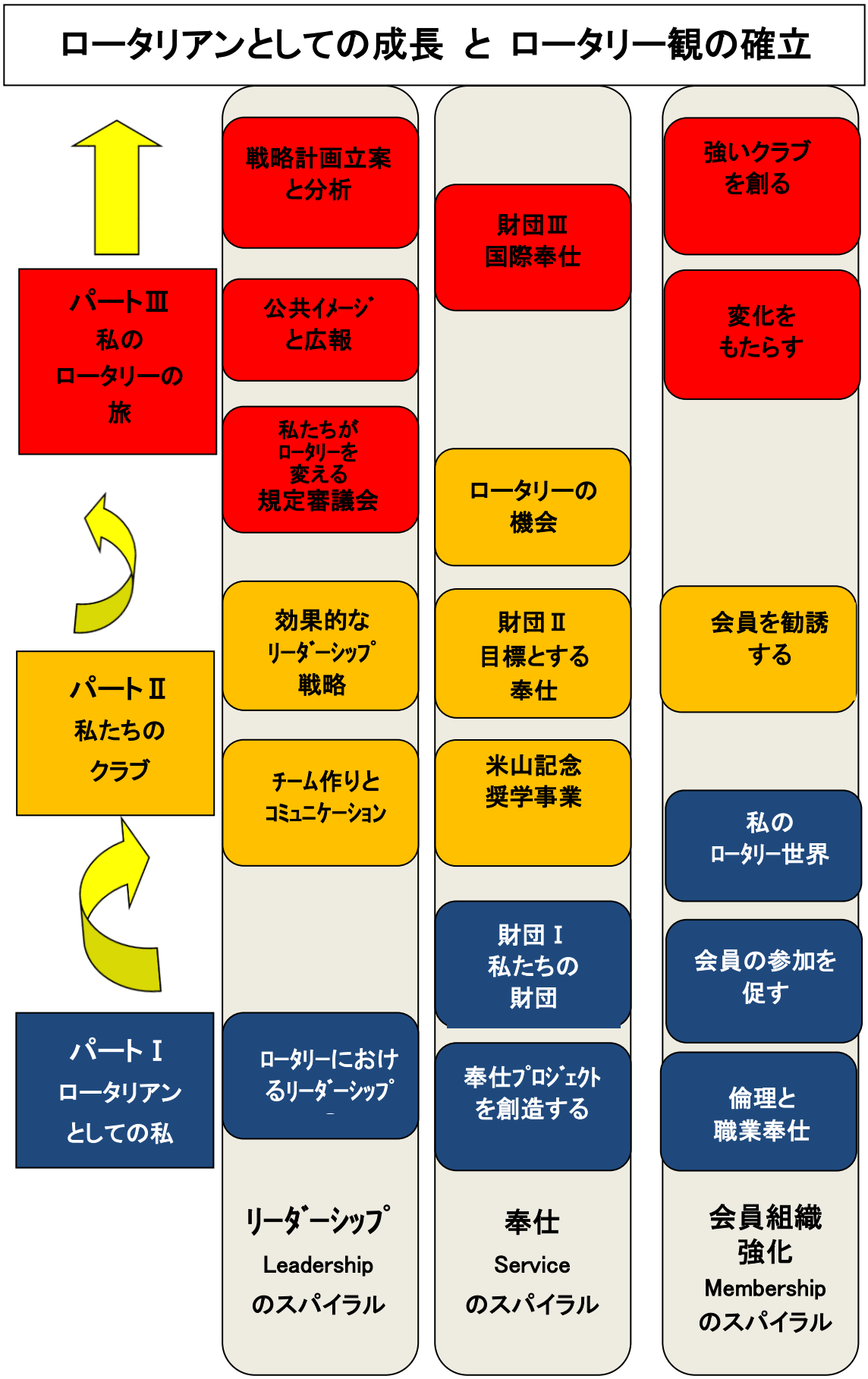
RLI カリキュラム委員会

RLI では世界の様々な地域でカリキュラム委員会を開催することにしています。現在の計画では各 4 年間のカリキュラムサイクルの中で、２回はアメリカで開催し、１～２回はアメリカ以外の様々な地域で開催されることになっています。

すべての RLI 支部は、このような会議に、支部や地区あるいはクラブの会員が RLI 役員に対して、意見や提案を提出せねばならないと通知されています。世界中で RLI の実践経験が積まれることで、RLI コースの価値は高まります。すべての RLI 支部は世界中の行われるすべてのカリキュラム会議に代表を派遣することが出来ます。

2018～2022 年度　カリキュラム委員会

RLI カリキュラムのスパイラル（らせん的展開）



オンライン RLI コース

世界 400 地区以上世界 400 地区以上に跨る共同プロジェクト

2018－22

パート I

RLI パートⅠ　－　ロータリアン
目　　次

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムではありますが、正式なプログラムではありません。

私たちの使命：　ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発ログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。

コース資料

行事計画、教授陣、今後の RLI 行事、部門のリーダーシップ、歓迎の言葉がカリキュラムの補遺としてあるいはウェブサイトに掲載されています。概要やすべての参考資料はウェヴサイト rlifiles.com 上にあります。

1. ロータリーにおけるリーダーシップ(My Leadership In Rotary)
ロータリアンとして、その定義によれば、私はリーダーです。さあご一緒に、リーダーシップの特徴や組織を動機づける手法やリーダーシップのスタイルを探求しましょう。どうしたら一番うまくリーダーシップを発揮することができるでしょうか？

2. 私のロータリー世界(My Rotary World)
ロータリアンとして私は同じ志を持った世界組織の一員です。ロータリーの目的や構成を正しく理解しましょう。これらのリソースは私を支援してくれるでしょうか？

3. 倫理　―　職業奉仕(Ethics - Vocational Service)
私は倫理的な人間です。他人の倫理観を評価し促進させます。自分の職業を通じて奉仕の機会を探ります。私がロータリアンであることをあなたは理解できるでしょう。

4. 財団Ⅰ　―　私たちの財団（Our Foundation)
私は私の住んでいる地域社会や世界で“良い事をしています”。財団に関する基本的な目標、やプログラムを学びましょう。私は世界で良い事をする力となるでしょう。

5. 会員の参加を促す(Engaging Members)
私が積極的に参加することでクラブをより強くします。クラブに引き込まれている会員は楽しく過ごし、友人を作り、効果的な奉仕活動を行います。これが私がロータリーに入会した理由です。

6. 奉仕プロジェクトを考案する(Creating Service Projects)
私は職業人や専門職、更には社会のニーズを満たすボランティア活動のリーダーで構成される世界的な奉仕組織の極めて重要な一員です。私は奉仕事業を企画、運営し、そして奉仕を促進します。

1. ロータリーにおけるリーダーシップ

ロータリアンとして、その定義によれば、私はリーダーです。

セッションの目標

リーダーシップの特性を探求する。
ボランティア団体や市民団体におけるモチベーションの高め方を議論する。
あなた自身のリーダーシップのスタイルを考察する。

セッションの話題

1）クラブの過去の会長や、ロータリー活動で知り合ったロータリアンの中で、あなたが一番のリーダーだと信じる人を思い描いてください。（名前を言わないで）
グループの人になぜそのリーダーがベストであったかを説明してください。

2）今、皆様からご意見をいただきました事は、もしかしたら、あなたが望むリーダー像なのでしょうか？ここで、分類表に基づき検証してみましょう。

3）リーダーシップのスタイルは文化や世代によって変わるかもしれませんが、次のリーダー
シップの分類（Kurt Lewin と Rensis Likert の研究に基づく）の観点から議論されるリーダー像について分析してください。

- 参加型：ほかの人々に参加してもらおうと努める。
- 臨機応変型：状況により方法を変える。
- 取引型：階層（ヒエラルキー）構造と賞罰制度に基づいて導く。
- 転換型：活力と熱意を分かち合いながら、相手の心をつかみ導く。
- サーバント型：仕えてもらうより自らが仕える。

４）良いリーダーの特性をリストアップしてみましょう。
その中でどの特性が重要と考えているか話しあってください。

５）リーダーとリーダーシップとありますが、リーダーシップを！あなたが置かれてる
環境の中で他の人に持たせようとするには、あなた自身どんな努力をしますか？

６）ロータリーにおけるリーダーの役割とは何でしょうか？

要約：
良いリーダーシップの必須条件は、思考、計画、準備、新しいことに取り組む意思、過去にとらわれないこと、及びリスクを取る自信です。

2. 私のロータリー世界

ロータリアンとして私は同じ志を持った世界組織の一員です。

セッションの目標

ロータリーの目的について議論する。
ロータリーの組織構造について理解する。
ロータリーの組織は、ロータリアンとしての私をどのように支援してくれているかを述べる。

セッションの話題

あなたのロータリークラブ

1）なぜあなたはロータリーに入会しましたか？

2）ロータリークラブに入って何か良かったことはありますか？

3）もしあなたが中学生に「ロータリークラブとは？」と聞かれたらどう答えますか？
ロータリーはどのような団体でしょうか？その目的は？

4）ロータリーの組織としてどのようなものがありますか？その役割は何ですか？

5）この組織図をどう思われますか？あなたのイメージと違いますか？
あなたはロータリーの組織をどのようなイメージで考えますか？

3. 倫理　職業奉仕

私は倫理的な人間です。他人の倫理観を評価し促進させます。自分の職業を通じて奉仕の機会を探ります。

セッションの目標

ロータリーの指導原則に含まれる倫理観を学ぶ。
「四つのテスト」の意義を話し合う。
クラブにおける「職業奉仕」の実践について話し合う。

セッションの話題

1）　あなたはどのようなことを大切にしてお仕事をされていますか？

2）ロータリーの指導原則に含まれる（職業）倫理観と照らし合わせて、あなた自身の価値観について話し合ってみましょう。

3）ロータリーの目的の第２項で、ロータリーは職業上の高い倫理基準と高潔性を求めています。あなたは、ご自分の職業でどのようなことを大切にされていますか？

4）「四つのテスト」は、ロータリーの職業倫理についての声明です。
四つのテストはロータリーの職業奉仕をもっとも簡潔に表した言葉だと言われています。あなた自身の職業に、四つのテストをどのように反映されていますか？

5）ロータリーで言う倫理は人としての道徳的倫理と違い、「職業倫理」を指すことが多いと思います。それぞれの基本理念でその理念を表す３つのキーワードを考えてみましょう。

＊ロータリーの目的　：奉仕の理念　高潔　職業人
＊四つのテスト　　：職業倫理　職業の指導書　企業哲学
＊五大奉仕　　：職業奉仕　国際理解、親善、世界平和の推進　リーダーシップ
＊ロータリアン行動規範　：高い倫理水準　リーダーシップ　博愛

6）「資料：職業奉仕のアイディア」を参考に、あなたのクラブでできる「職業奉仕」のアイディアを自由に話し合ってみましょう。

4. 財団 I 私たちの財団

私は私の住んでいる地域社会や世界で“良い事をしています”。

セッションの目標

ロータリー財団の基本的目標、プログラム、および資金調達について理解する
クラブにとってのロータリー財団の重要性と価値について議論する
各ロータリアンが TRF へ寄付をする必要性

RLI ではこのコースの他に別のコースでロータリー財団を議論しますが、特別なロータリー財団研修については地区にご相談することをお勧めします。

セッションの話題

1）ロータリー財団と聞いて何を連想しますか？

2）ロータリー財団について知っていることはどんなことでしょうか？

3）ロータリー財団はどのような活動をしていますか？

4）ロータリー財団のプログラムには何がありますか？

5）ロータリー財団が掲げる 7 つの重点分野は何でしょう？
（2020 年 6 月「環境の保全」supporting the environment が新しい重点分野となりました）

6）国際ロータリーとロータリー財団はどのような関係でしょうか？

5. 会員の参加を促す

私が積極的に参加することでクラブをより強くします。

セッションの目標

クラブ会員にロータリー活動への参加を促すことの価値を確認する。
会員をクラブ活動に巻き込み、ロータリークラブを強化するための戦略を議論する。
会員の参加を促すための方法を探る。

セッションの話題

1）あなたはロータリークラブのどこに魅力を感じて入会し、なお今も在籍しているのでしょうか？　あなたがロータリーを続ける理由を話し合ってみましょう。

2）あなたのクラブでは奉仕活動や親睦活動への会員の参加状況はいかがですか？
特に新会員の動向はいかがですか？

3）あなたのクラブは会員の参加を促すためにどのような工夫をしていますか？
例会の工夫は？　奉仕プロジェクトへ参加させる工夫は？
同好会などはありますか？　その他の参加を促す仕掛けや仕組みは？

4）会員の参加を促すことがなぜ重要なのでしょうか？

5）クラブ会員の満足度を高めるために何が必要だと思いますか？

6. 奉仕プロジェクトを創造する

私は、職業人のニーズを満たす世界的な奉仕組織の極めて重要な一員です。

セッションの目標
あなたのクラブの奉仕プロジェクトを見極め、立案し、組織し、要件を満たし、実行することを学ぶ。

奉仕プロジェクトのための事業計画を開発する

奉仕プロジェクトの成功を評価する方法を学ぶ

セッションの話題

1）あなたのクラブが行った、過去 3 年間の社会奉仕事業及び国際奉仕事業について質問します。

1-1 それは、どのような事業ですか？

1-2 それは、どのような理由で生まれたのですか？

1-3 それらの事業により、どのような結果が得られましたか？
その奉仕プロジェクトの成果はいかがでしたか？　成功例、失敗例など

1-4 クラブの会員はどのように関わりましたか？

1-5 今までの事業と比較して何か創造的あるいは独創的な内容でしたか？

2）あなたは委員長に任命され、あなたのクラブの新しい奉仕プロジェクトに取り組むことになりました。どのようなプロジェクトに取り組みたいと思いますか？

オンライン RLI コース

世界 400 地区以上に跨る共同プロジェクト

2018－22

パートⅡ

RLI パートⅡ　ー　ロータリークラブ
目　　次

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムではありますが、正式なプログラムではありません。

私たちの使命：　ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発ログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。

コース資料

行事計画、教授陣、今後の RLI 行事、部門のリーダーシップ、歓迎の言葉がカリキュラムの補遺としてあるいはウェブサイトに掲載されています。概要やすべての参考資料はウェヴサイト rlifiles.com 上にあります。

1. ロータリーの機会（Rotary Opportunity）
ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができるでしょう。

2. 効果的なリーダーシップ戦略（Effective Leadership Strategies）
ロータリーの旅を進めるとき、私は複雑で熟練したリーダーシップ技術の使い方に引き込まれ、そしてリーダーシップの機会をしっかりと身につけることでしょう。

3. 会員を勧誘する（Attracting Membership）
あなたのクラブの地域社会における特有の地位や新会員を引付ける
クラブ会員の質を再検討し、促進します。
最良のメンバーと一緒に仕事がしたい。

4. チーム作り（Team Building）とクラブコミュニケーション（Club Communication）
私たちの奉仕の目標達成のために、効果的でモチベーションの高いグループに対して私たちのクラブとの協働を促進することができます。ロータリーとロータリアンの本当のパワーを活用しましょう。
クラブ内外の聴衆に対する効果的なコミュニケーションを促進します。
あなたの技能に磨きを掛けてください。

5. ロータリー財団Ⅱ　目標とする奉仕　（Targeted Service）
ロータリー財団のプログラムを通じて、目標としている、ユニークで意義深い奉仕活動の機会へのクラブ会員の参加を促進することできます。財団のプログラムの重要な概念を理解しましょう。

6. ロータリー米山記念奨学会
日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業プログラムです。このセッションでは、奨学制度の基本、及びこの事業の意義を中心に、事業全体の概要を学びます。

1. ロータリーの機会

ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができるでしょう。

セッションの目標

・国際ロータリーのプログラムのあらましを提供します。
・世界ネットワーク活動グループ（ロータリー行動グループ、ロータリー親睦活動グループ）は私たちにどのようなメリットがあるでしょうか。
・国際ロータリーのプログラムや世界ネットワークグループに参加することで、あなたやあなたのクラブにはどのような変化が生まれるでしょうか。
・それらに参加することはロータリーの使命とどのように適合するのでしょうか。

セッションの話題

1）国際ロータリー（RI）にある常設のプログラムを知っていますか。

2）それぞれどのようなプログラムでしょうか。

3）現在のあなたのクラブとこれらのプログラムとの関わりを教えてください。すでにいずれかのプログラムを経験しているクラブは、そのメリットとデメリットについての感想を話してください。プログラムに未参加のクラブも参加した場合のメリットを考えてみましょう。

4）ロータリープログラムは RI がクラブと地区のために認定している組織的な活動です。これらの国際ロータリーのプログラムは、「ロータリーの使命」にどのように適合しているでしょうか？

5）世界ネットワークグループである「ロータリー親睦活動」と「ロータリー行動グループ」について考えてみましょう。

2. 効果的なリーダーシップ戦略

ロータリーの旅を進めるとき、私は複雑で熟練したリーダーシップ技術の使い方に引き込まれ、そしてリーダーシップの機会をしっかりと身につけることでしょう。

セッションの目標

グループの中での指導力やコミュニケーション能力向上させる。

目標や提案に対する支援を勝ち取ることができる方法を確認する。

セッションの話題

1）混乱したロータリークラブについてのシナリオ。

a) このクラブの真の問題は、あるとすれば、何でしょうか？

b) その問題点をリーダーシップによってどのように解決できるでしょうか？

c) あなたなら、どんなリーダーシップ戦略を提案しますか？

2）あなたのロータリークラブにおいてプロジェクトの承認を得るための練習。
添付の効果的なリーダーシップ戦略シナリオ（資料）を参照。

a) あなたの戦略を展開してください。どこから始めますか？

b) プロジェクトにおける連携をどのように構築しますか？

c) クラブ理事会にプロジェクトの支援を得るために、一席弁じる練習をして下さい。

３）なぜ、ある人が“影響力”があり、他の人にはないのでしょうか？

a)　カリスマ性は大切ですか　――――　それはいったい何でしょうか？

b)　たとえば、“ボス”、“クラブ会長”、“ボランティア”といった“肩書き”は影響力がありますか？

４）効果的なリーダーシップ戦略　合意(コンセンサスの)形成

a)　リーダーにとってロータリーにコンセンサスは重要でしょうか？

b) コンセンサスは妥協の結果でないことを、どのように確認しますか？
あるいは、関係する全員に満足してもらうために、リーダーはどのようにすべきでしょうか。

3. 会員を勧誘する

私たちのクラブが所在する地域社会における、クラブに対する特徴的な見方を再点検していくと共に、新会員を勧誘するためにクラブ会員の質を高めていきます。

セッションの目標

理想的なロータリアンの特性とは

どうしたら、私たちのクラブがよいロータリアンを惹き付けることができるかを探る。

セッションの話題

1）ロータリアンに相応しいと思われる方は、あなたの住む地域のどこで見つけ出すことができますか？

2）あなたのクラブの構成を議論しましょう。
あなたのクラブの構成は、年齢、性別、職業分類などに従って、地元地域社会を反映していますか？あなたのクラブはどのようにして人口統計学あるいはクラブの職業分類表で欠けている職業人を勧誘することができますか？

3）あなたは今まで何名の新会員を勧誘しましたか？
その時、上手くいった方法、少し上手くいかなかったことを教えてください。

4）会員候補者にとってあなたのクラブは魅力的ですか？
あるいは誇れることはありますか？

5）あなたのクラブは将来会員となる可能性のある人を歓迎していますか？どのように歓迎していますか？

6）クラブのイメージは、新会員勧誘に大きな影響を与えますが、あなたのクラブではイメージアップにどんな努力をしていますか？

4. チーム作りとクラブコミュニケーション

私たちのクラブは、私たちの奉仕の目標達成のために、効果的でモチベーションの高いグループに対する協力を推進、促進します。

セッションの目標

チームとチーム作り（チームビルディング）がロータリークラブの中でどのように利用されているのか調べてみましょう。

あなたのクラブの強みと弱みを議論しましょう。

効果的なコミュニケーションの基本的な要素について理解する。

効果的なコミュニケーションの方法をロータリーのリーダーシップに応用する。

セッションの話題

1）ロータリーに限らず、あなたが考える最高の理想的なチームとはどんなチームですか？

2）あなたのクラブの委員会編成（組織編成）で問題点や課題は何ですか？
あなたのクラブをこの組織図に当てはめてみると、どんなことが見えてきますか？

3）委員会の活性化が元気なクラブづくりに結びついてきますが、あなたが思う元気なクラブとは、どのようなクラブですか？

4）あなたのクラブにおける、効果的なコミュニケーションに対する障壁や問題は何でしょうか？　クラブ内でのコミュニケーションに問題はありますか？
それはどのような問題や障壁ですか？

a.あなたのクラブにおける、効果的なコミュニケーションの秘訣を教えて戴けますか？

b.今までに、壁に突き当たったり躓いてしまった時に、どんな対処法を取りましたか？

5）クラブ内で、良いコミュニケーションが取れるようにするためにはどのような仕組みや工夫が必要ですか？

6）クラブ外とのコミュニケーションはどんなのものがあるでしょうか？

5. ロータリー財団Ⅱ　目標とする奉仕

ロータリー財団のプログラムを通じて、目標としている、ユニークで意義深い奉仕活動の機会へのクラブ会員の参加を促進することできます。

セッションの目標

ロータリー財団の補助金モデルを復習する。

クラブにとって~~新~~補助金モデルが重要であることを議論する。

ロータリーの『６つの重点分野』の役割について学ぶ。

『持続可能性』の重要性について理解を深める。

すべてのセッション資料は www.flifiles.com 上から利用できます。

セッションの話題

1）ロータリー財団に対する皆さんの印象をお伺いしたいと思います。あまり難しく考えないでどのようなイメージでも構いませんので率直な意見を一言でお願いします。

2）ロータリー財団は何をするところでしょうか。

a.これを端的に表しているのが標語と使命ですが、ロータリー財団が掲げている標語は何だったでしょうか。

b.ロータリー財団の使命をご一緒に確認してみましょう。

3）ロータリー財団には補助金モデルがあります。お分かりの方いらっしゃいますか？

・地区補助金

・グローバル補助金

4）最近、TRF はさらに新しい補助金として、大規模プログラム、災害補助金などが新しく新設されましたが、これらに参加しようと思いますか？

5）ここでシェアシステムについて学んでみましょう。

6）7つの重点分野がありますが、暗記して覚えるのもよいでしょうが、何のための6つの分野なのか、あるいは何のための持続可能性なのかを理解することが大切なのかもしれません。

6. 米山記念奨学事業

（米山記念奨学事業の基本と事業の意義）

セッションの目標

ロータリー米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業プログラムです。１９５２年にスタートし、１９６７年、現文部科学省を主務官庁とする 「財団法人ロータリー米山記念奨学会（現在は公益財団法人）」が設立されました。全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給する、世界で類を見ない日本独自の３４地区による「多地区合同活動」として、全国のロータリークラブ、地区が米山記念奨学会の活動を支えています。このセッションでは、奨学制度の基本、及びこの事業の意義を中心に、事業全体の概要を学びます。

セッションの話題

１）米山記念奨学会本部では、米山全体を呼ぶときに“記念”を必ずつけて欲しいと言っています。米山記念奨学会、米山記念奨学生。記念と付けるのは何故なのでしょうか？

２）この事業の特徴点には、次のものがあります。それぞれの内容を考えましょう。

2-1　指定校推薦制度
2-2　世話クラブ・カウンセラー制度
2-3　寄付金に応じた表彰制度
2-4　寄付額に対する税制上の優遇制度
2-5　学友会

3）この事業への寄付には、各クラブで定めた定期的な寄付（普通寄付金）と個人・法人・クラブから集められる任意的寄付（特別寄付金）があります。

3-1　それぞれの寄付額の今年度・当地区の１人あたりの目標額をご存じですか。

3-2　昨年度、あなたのクラブの普通寄付金額は年１人あたりいくらでしたか。

3-3　昨年度、あなたのクラブの特別寄付金額は年１人あたり平均いくらでしたか。

3-4　昨年度、あなたのクラブの会員のうち、特別寄付をした人は何%いましたか。

3-5　特別寄付をしなかった人に対し、寄付の重要性をどのように説明しますか。

4）現在、あなたのクラブには米山奨学生がいますか。これまでに何人の奨学生を世話した経験がありますか。世話クラブの経験がないクラブは、どのような理由からだと思いますか。

5）この事業の意義について伺います。どんな意義があるでしょうか？
留学生の出身国における意義、日本における意義、国際社会における意義はどのように違うでしょうか？あるいは同じでしょうか？では、ロータリーそしてロータリアンにとっての意義はどうでしょうか？

6）本事業は公益財団法人の許可を得て活動をしており、法的に制約されている部分もありますが、そのような制約に拘わることなく、自由な発想で本事業の未来はどうあるべきか、どうなることが望ましいか、お考えください。

オンライン RLI コース

世界 400 地区以上に跨る共同プロジェクト

2018－22

パートⅢ

RLI パートⅢ　－　私のロータリーの旅
目　　次

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムではありますが、正式なプログラムではありません。

私たちの使命：　ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発ログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。

コース資料

行事計画、教授陣、今後の RLI 行事、部門のリーダーシップ、歓迎の言葉がカリキュラムの補遺としてあるいはウェブサイトに掲載されています。概要やすべての参考資料はウェヴサイト rlifiles.com 上にあります。

1. 戦略計画とクラブの分析(Strategic Planning & Analysis)
洞察に満ちたクラブの戦略計画とその分析を進めていくことで、クラブを強くすることができます。自クラブを良く見ることによって、問題の改善にどのように関わることができるでしょうか。

2. ロータリー財団Ⅲ：国際奉仕(International Service)
ロータリーの旅を進めるとき、様々なニーズに出会い、その問題を解決し、平和の支援を通して、世界中にコネクションを築くことができます。

3. 公共イメージと広報（Public Image & Public Relations)
ロータリーの旅を進めるとき、地元地域社会や世界が受ける恩恵に対して、クラブとロータリーのイメージを高める機会を確認することでしょう。

4. 強いクラブを創る　(Building A Strong Club)
あなたのクラブの活動に関連する職業の新しい側面（そして伝統的な側面）。

5. 規定審議会・決議審議会（The Council on Legislation& Council on Resolutions ）
3 年に一度開かれる規定審議会は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。参加者はオープンマインドで、ロータリーにとって何がベストなのかを考えることが求められています。

6. 変化をもたらす(Making A Difference)
ロータリーの旅を進めるとき、RLI の研修によって私自身の経験や成長を自己評価することができるでしょうし、また後輩のロータリアンのために改善のお手伝いができるでしょう。

1. 戦略計画とクラブの分析

洞察に満ちたクラブの戦略計画とその分析を進めていくことで、クラブを強くすることができます。

セッションの目標

戦略計画に対する価値と立案過程を理解する

改善すべき分野を再検討する。

なぜ特別な改善がなされるかを議論する

すべてのセッション資料は www.rlifiles.com 上から利用できます。

セッションの話題

クラブ分析

1）自クラブの分析をしてみて、あなたはどう受け止めましたか？

a.点数はどのくらいでしたか？

b.何か見えてきたことはありますか？

c.自クラブの弱みと強みはどこにあると思いますか？

2）あなたのクラブには戦略計画委員会はありますか？

a.委員会の構成メンバーを教えください。

b.どのような活動をされていますか？

c.会員同士でいろいろな問題や理想像について話し合う機会はありますか？

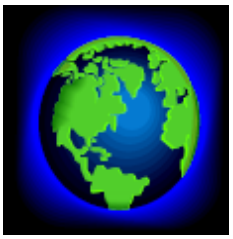
3）国際ロータリーの戦略計画をご一緒に見てみましょう。いかがですか？　クラブの将来像にどのように活かしていけますか？

4）ロータリークラブの自己評価がなぜクラブにとって大切なのでしょうか？また、それがクラブ内のロータリアンにとって、大切な実習となるのでしょうか？

ビジョンのない行動は浪費であり、行動のないビジョンは単なる夢である。
ビジョンのある行動は世界に希望をもたらす。

1996~97 年度 RI 会長
Lui Vicente Giay
1996 年カルガリー国際大会　アドレス

2. ロータリー財団Ⅲ：国際奉仕



ロータリーの旅を進めるとき、様々なニーズに出会い、その問題を解決し、平和を構築することを支援することで、世界中にコネクションを築くことができます。

セッションの目標

国際奉仕の機会について学ぶ

私たちの職業上の技術を国際奉仕プロジェクトに活用する

ロータリアン行動グループが如何に私たちの活動を広げるかを学ぶ

国際奉仕に関するアイディアを探求する。

すべてのセッション資料は www.rlifiles.com 上から利用できます。

セッションの話題

1）国際奉仕とはどのようなものでしょうか？
あなたが抱くイメージをお聞かせください。

2）あなたのクラブで印象に残る国際奉仕事業は何ですか？
また、ご自身が関わった国際奉仕プロジェクトがありましたらご紹介ください。

3）国際奉仕プロジェクト実施するために、ロータリー財団の補助金を利用されましたか？
グローバル補助金についてどのようなイメージを持っていますか？
利用しにくいですか？　どうしたらもっと良くなりますか？

4）国際奉仕の機会を促進させるために、一人のロータリアンとして何ができるでしょう。
あなたの職業上のスキルを国際奉仕に役立てることが出来るでしょうか。
ご自身の職業から、どのような６つの重点分野の奉仕が出来るか考えてみましょう。

5）クラブで国際奉仕が活発に行われているクラブもあれば、ほとんどやっていないクラブもあるかと思います。今まで取り組んでいない場合、クラブ会員全員が積極的にプロジェクトに関われる下地を作る必要があり、その下地を作るにはどうしたらよいでしょうか？

6）国際奉仕の機会を促進させるために、クラブは何ができますか？
また、どのように国際奉仕の機会を探しますか？

3. 公共イメージと広報

ロータリーの旅を進めるとき、地元地域社会や世界の享受する恩恵に対して、クラブとロータリーのイメージを高める機会を確認することでしょう。

セッションの目標

ロータリーとクラブ会員や所属ロータリークラブに関する公共イメージと宣伝について議論する。
広報戦略によって、所属するクラブがどのような利益を得られるかを探求する。
自クラブが広報しようとする対象の人々を確認し、その人々に対して、どうしたら効果的に広報できるかを確認する。

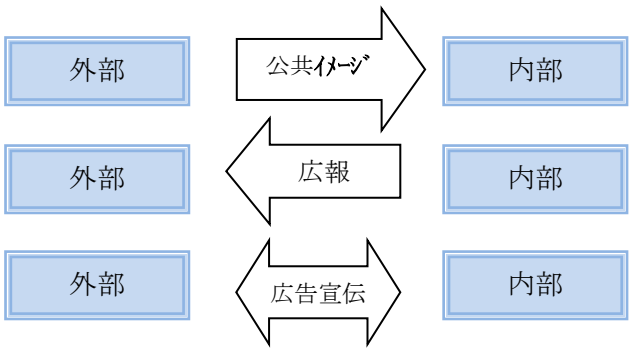
セッションの話題

1）多くの地域社会では、多くの人がロータリークラブの存在を知りません。
あなたの周りでは“ロータリー”はどのように認知されていますか？

2）あなたの身近にいる方にロータリーのお話をするとき、ロータリーについてや魅力を伝えるとしたら、どのようにお話されますか？

3）クラブまたは地区がどのように広報すれば、あなたのクラブの公共イメージは高まると思いますか？

4）広告宣伝、広報および公共イメージの違いは何でしょうか？そのうちどれが一番制御できるものでしょうか？



5）ロータリーに対する認知度の向上や、良いイメージを持ってもらうには、クラブや地区からどのような発信の仕方があると思いますか？

6）あなたがクラブの公共イメージ（広報）委員長なら、どのようなイメージアップ戦略を企画しますか？心と頭を柔らかく自由な発想でも良いのでお聞かせいただけますか？ロータリークラブが広報しようとする対象の人々は誰でしょうか？

4. 強いクラブを創る

私のロータリーの旅を進めるに従い、私はロータリーの約束を実現することに手を貸すことが出来ます。

セッションの目標：

時代によって変わるロータリーに対する期待を調査する

結果的に、期待に応えられたもの、応えられなかったものを調査する

ロータリーの約束を果たすために、どのような支援ができるかを考える

セッションの話題：

1）あなたが思う強いクラブとはどんなクラブですか？

a. 内部から見た場合はどうでしょうか。

b. 外部から見た場合はどうでしょうか。

2） クラブが存続し発展するためには、いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと『不易流行』が大切になってくると思いますし、そのためには何が必要でしょうか。

3）社会に対する「ロータリーの約束」とは、何を意味するか？
ロータリーの指導原則：特に五大奉仕部門を参考に考えてみましょう。

4）あなたのクラブは、地域社会からどのような特別な期待、あるいは一般的な期待をもたれていますか？

a. 今までの色々な活動を振り返ってどんなものが考えられるでしょうか？

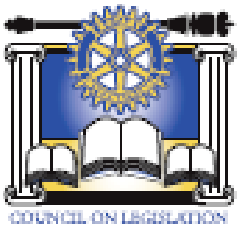
b. クラブ以外で連携協力が出来そうな団体はありますか？

5） あなたのクラブは、五大奉仕部門を通じてこれらの期待に対してどのように対応しますか？ これを実行するに当たりあなたの役割は何ですか？

6） この議論を踏まえて、あなたはあなたのクラブをどのようにしてより強くすることができますか？

5. 規定審議会・決議審議会

The Council on Legislation& Council on Resolutions



3 年に一度開かれる規定審議会（COL）は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。
決議審議会（COR）は毎年、電子的コミュニケーションを通じて決議案を審議します。採択された決議案は、後日、理事会あるいは財団管理委員会で検討されます。

セッションの目標：
理事会が国際ロータリーの方針を決定する一方、規定審議会ではロータリークラブが組織の運営に関して発言する機会が与えられます。審議会には地区からの代表議員が派遣され、ここで法案の審議が行われます。全クラブと地区には審議会へ立法案を提出する権利があり、審議会の決議がロータリーの最も重要な活動に影響を与えることもあります。1989 年規定審議会の決議によってロータリーに初めて女性が入会し、1986 年審議会の決議からは「ポリオ・プラス」が誕生しました。このセクションの対象となるいくつかは哲学的あるいは、理論的な性質のもの、いろいろな解釈に基づいています。参加者はオープンマインドで、ロータリーにとって何が一番ベストなのかを考えることが求められています。

規定審議会は、ロータリー世界の各地から集まる 500 名以上の代表議員によって構成されます。投票権を有する議員には、各ロータリー地区から 1 名ずつ選出された代表議員が含まれます。投票権を有しない議員は、規定審議会の議長および副議長、RI 会長、RI 理事会のメンバーと元 RI 会長です。

<u>セッションの話題</u>

１）あなたは「規定審議会」にどんな印象をお持ちですか？

２）“規定審議会”“決議審議会”の外枠から探ってみましょう。

2-1 規定審議会とはなんでしょうか？

a. 規定審議会で改定することのできる規則が３つあります。一つずつお答えください。
b. 標準ロータリークラブ細則を変更できるのは？
c. 国際ロータリーの方針を変更できるのはどこでしょう？

2-2 決議審議会となんでしょう？

３）もしあなたが、ロータリーに関して何かを変えるとしたら、何を変えようと思いますか？
具体的に、そしてその理由

４）あなたの提案で、どのようにロータリーは変わりますか？

５）２０１９年 COL の実例について議論しましょう。
あなたはこの提案に賛成か反対か？その理由は？

６）２０２２年規定審議会にあなたが提案したい制定案はありますか？

6. 変化をもたらす

ロータリーの旅を進めるとき、RLI の研修によって私自身の経験や成長を自己評価することができるでしょうし、また後輩のロータリアンのために改善のお手伝いができるでしょう。

セッションの目標

他の後輩ロータリアンのために、RLI 参加者として RLI の経験を改善するためにはどのようなことができますか？

RLI の議論の中から出たアイディアを、ロータリークラブ、他の市民団体、社会生活、あるいは職業において、どのように利用することができるでしょうか？

あなたの経験から RLI プログラムの強み弱みを分析し、RLI 改善のための提言をしてください。

セッションの話題

1）あなた個人として、RLIのパートⅠからパートⅢまでのどのセッションが一番心に残りましたか？また、それはなぜですか？

2）それぞれのセッションの目標に到達するには、どのような討議（グループワーク・配布資料等）が一番効果的でしたか？
それはなぜでしょうか？

3）あなたはRLIの経験から何を学びましたか？
次回に参加される人のために、RLIはどんな改善が必要だと思いますか？

4）ロータリーやあなたのクラブが直面している問題の中で、RLIで学んだ技能やテクニックを活用することで、改善されるものはありますか？

5）「私のRLI　個人別行動計画」を作成しましょう。

ご卒業おめでとうございます！

もっと学びたいですか？RLIでは卒業生のために特別な卒後コースを用意しています。ウェブサイト　www.RotaryLeadershipInstitute.org　を訪ねて戴き、最新の講義科目についての情報をご確認ください。

RLIコース

	2018～2022年 RLIカリキュラム	2018-22年 日本版 RLIカリキュラム
パートⅠ	・ロータリーにおけるﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ ・私のロータリー世界 ・倫理と職業奉仕 ・財団Ⅰ：私たちの財団 ・会員の参加を促す ・奉仕プロジェクトを創造する	・ロータリーにおけるﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ ・私のロータリー世界 ・倫理と職業奉仕 ・財団Ⅰ：私たちの財団 ・会員の参加を促す ・奉仕プロジェクトを創造する
パートⅡ	・ロータリーの機会 ・効果的なリーダーシップ戦略 ・会員を惹き付ける ・クラブコミュニケーション ・チーム作り ・財団Ⅱ：目標とする奉仕	・ロータリーの機会 ・効果的なリーダーシップ戦略 ・会員を勧誘する ・チーム作りとクラブコミュニケーション ・財団Ⅱ：目標とする奉仕 ・米山記念奨学会
パートⅢ	・戦略計画と分析 （ﾀﾞﾌﾞﾙ・ｾｯｼｮﾝ） ・財団Ⅲ：国際奉仕 ・公共イメージと広報 ・強いクラブを創る ・変化をもたらす	・戦略計画と分析 （ｼﾝｸﾞﾙ・ｾｯｼｮﾝ） ・財団Ⅲ：国際奉仕 ・公共イメージと広報 ・強いクラブを創る ・規定審議会 ・変化をもたらす

ロータリー・リーダーシップ研究会は国際ロータリーの公式研修プログラムではありません